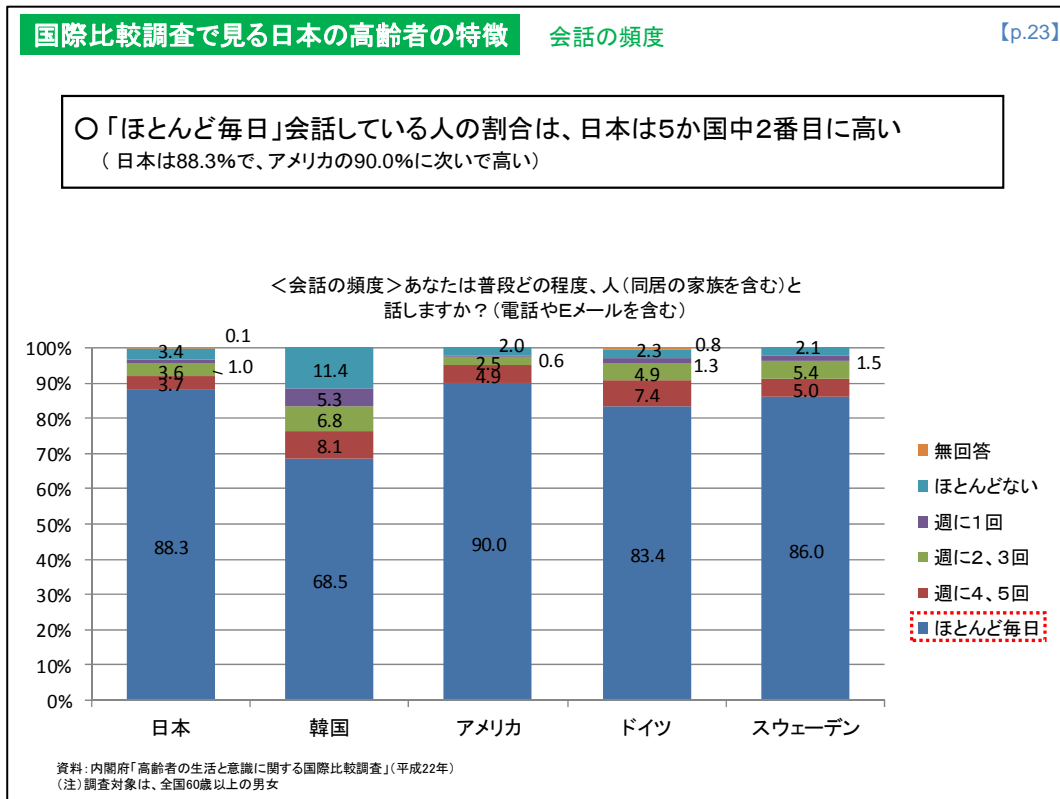


② 国際比較調査で見る日本の高齢者の特徴

次に、昨年、内閣府で実施した国際比較調査の結果を紹介しています。調査対象は日本のほか、韓国、アメリカ、ドイツ、スウェーデンの4か国です。

<会話の頻度>

ほとんど毎日、会話をしている人の割合は、日本は88.3%で、アメリカに次いで2番目に高くなっています。

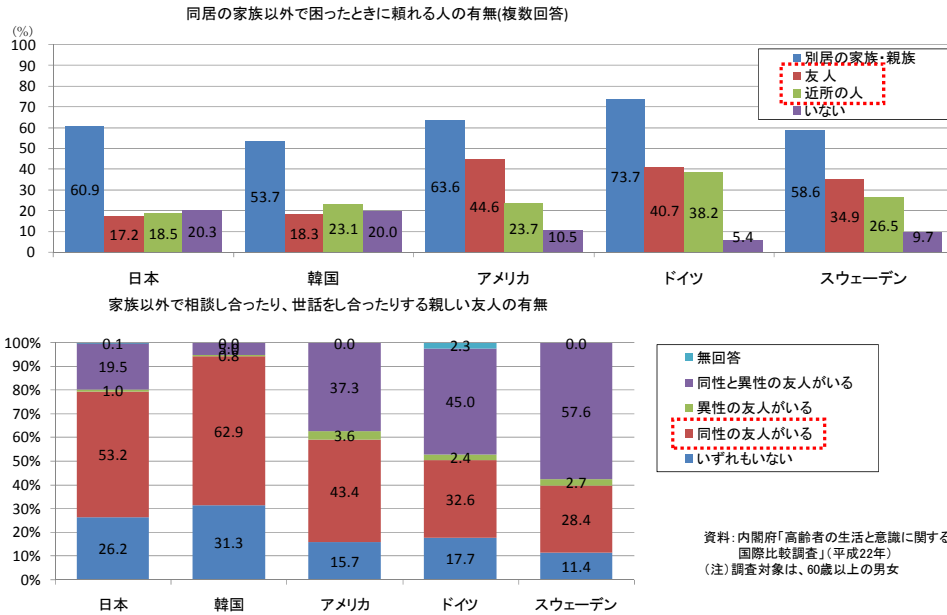


<困ったときに頼れる人の有無、友人の有無>

日本は、別居の家族や親族を挙げる人はほかの国と遜色ないのですが、友人や近所の人を挙げる割合がほかの国と比べると低い状況にあります。ただし、これは意識調査ですので、昔に比べて近所のつきあいが少なくなっていることが影響している、という見方もあります。なお、これは震災前に聞いたものです。

相談し合ったりお世話をし合うという、かなり濃密なおつきあいをしている親しい友だちの有無について、日本と韓国は「いない」と答えた人の割合が欧米に比べて高くなっております。特徴的なのは、欧米は同性と異性の両方の友人がいる人が多いのですが、日本と韓国は異性の友人がいる人はあまりいません。活動をするときも、同性でかたまることが多いと思われます。

○ 日本の高齢者は家族・親族という血縁関係を中心に人間関係を構築しており、近所の人や友人との関係がやや希薄



③ 高齢者の社会的孤立を防止し、高齢者自身を「地域」の支え手に

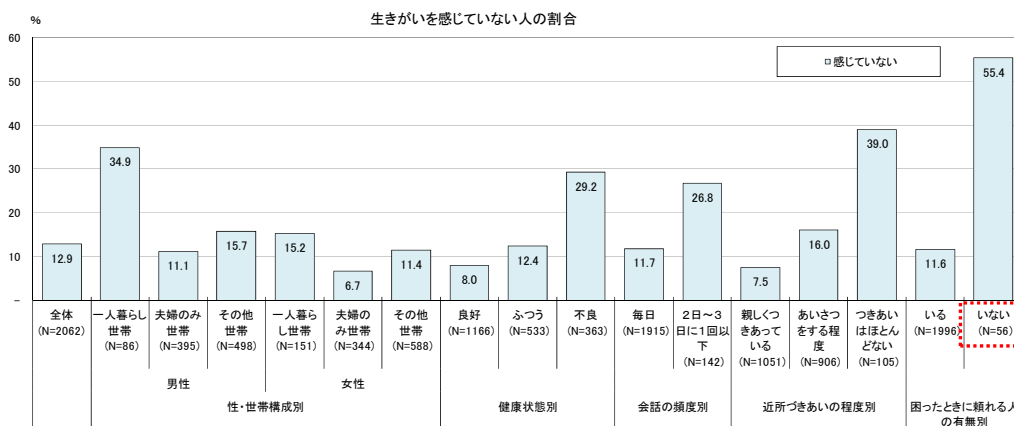
社会的孤立にはどのような問題があるのか。ここでは4つの問題点を挙げています。

<生きがいの低下>

まず、社会的に孤立すると生きがいを感じられなくなるのではないかと、ということです。

どういう人があまり感じていないか、というと、困ったときに頼れる人がいない人のうち、55%の人が「生きがいを感じていない」と言っています。

○ 社会から孤立した状況が長く続くと、生きがいを喪失したり、生活に不安を感じることもつながる。(困ったときに頼れる人がいないと回答した人の半数以上が「生きがいを感じていない」と回答。)



資料：内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」(平成22年)
(注)調査対象は、全国60歳以上の男女

<高齢者の消費者被害>

2 つ目の問題点としては、高齢者の消費者被害です。数は減ってきていますが、振り込め詐欺の被害者は6割以上が65歳以上です。孤立化を防ぐことで、消費者被害を防ぐことにもつながって行く、と考えております。

高齢者の社会的孤立が生み出す問題点 高齢者の消費者被害 [p.16]

○ 高齢者の消費者被害の深刻化には、高齢者の孤立化が関係している可能性がある。被害を防ぐには、不安や悩みを話せたり、ちょっとした相談ごとができる場や人間関係をつくることが重要。

振り込め詐欺の認知件数・被害総額の推移

年次 区分	17	18	19	20	21	22
認知件数(件)	21,612	19,020	17,930	20,481	7,340	6,637
オレオレ詐欺	6,854	7,093	6,430	7,615	3,057	4,418
架空請求詐欺	4,826	3,614	3,007	3,253	2,493	1,774
融資保証金詐欺	9,932	7,831	5,922	5,074	1,491	362
還付金等詐欺	-	482	2,571	4,539	299	83
被害総額(億円)	251.5	254.9	251.4	275.9	95.8	82.1

資料：警察庁の統計による。本表の被害総額には、キャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺におけるATMからの引出(窃取)額は含まれない。

* 振り込め詐欺の被害者(平成22年度)は6割以上が65歳以上の高齢者

<高齢者による犯罪>

初犯の人と再犯の人を比べると、再犯は単身者が占める割合が非常に高いことがわかります。白書に掲載している別のデータでは、再犯のほうが親族なども含めて人との接触機会の少ない割合が高い状況もあります。

高齢者の社会的孤立が生み出す問題点 高齢者による犯罪 [p.17]

○ 犯罪を繰り返す高齢者には孤立化の傾向。前科・前歴や受刑歴などがある人ほど、初犯者に比べ、単身者が占める割合が高く、また、親族や親族以外の人との接触機会が少ない。孤立化を防ぐことは安全・安心な社会を築く上でも重要。

前科・前歴分類同居者別構成比

□ 単身 □ 配偶者 □ 配偶者、子・孫 □ 子・孫 □ その他親族 □ 知人

前科・前歴分類	単身	配偶者	配偶者、子・孫	子・孫	その他親族	知人
高齢初発群(91)	23.1	37.4	33.0	5.5	1.1	
前歴あり群(52)	57.7	26.9	11.5	3.8		
前科あり群(92)	60.9	18.5	9.8	6.5	3.3	1.1
受刑歴あり群(131)	77.9	13.0	4.6	2.3	2.3	

出典：法務省「平成20年版犯罪白書」